

01 開催概要

池田市は内閣府が実施する SDGs 未来都市への認定を目指しています。「SDGs でツナガリエ」は池田市にかかわりの深い市民や企業等の方々と一緒に SDGs のまちづくりに取り組むためのアイデアを考える機会です。

新しく石橋阪大前駅近くに整備されたツナガリエ石橋で行われた会議の様子について、概要をご紹介します。

日時：2022年4月25日(月)
15:00~17:00

会場：ツナガリエ石橋 5階 多目的スペース
参加者数：20名

当日のプログラム

- 池田市におけるこれまでのSDGs 関連の取り組み紹介
- ツナガリエ石橋の紹介
- 池田市からの現状/課題提示
- 取組アイデアを考えるワークショップ



02 池田市の SDGs 関連の取組紹介

企業やNPO 法人など様々な主体と繋がりながら、SDGs に関連する様々な活動が行われています。令和3年度に行われた2回の地域ワークショップのほか、阪急電車のSDGs トレイン未来ゆめ・まち号へのポスター掲出、細河地域で行われている地域活性化に向けた取組、地域公共交通の整備や、ツナガリエのように地域の人たちが集う場づくりが進められていることが紹介されました。



03 ツナガリエ石橋の紹介

ツナガリエ石橋は2022年4月1日にオープンした新しい施設です。「石橋図書館」、男女共同参画・多文化共生事業の拠点となる「ダイバーシティセンター」、子どもの健やかな育ちを支援する「地域子育て支援拠点わたぼうし」が入居しています。

今回の会場となった5階の多目的スペースにはキッチンが併設されているなど、本当に多様な使い方が可能であることが紹介されました。



閉じているスクリーンの裏にはシンクやオーブン、IHコンロがありました！



04 池田市からの現状/課題提示

環境(Environment)、経済(Economy)、社会(Social)の3側面に則って、現状の説明、市が感じている課題やこれから必要になる取組方向についての話題提供がありました。

【環境】

環境の分野では、2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量を実質ゼロに)の実現に向けての課題が提示されました。池田市は令和4年3月にゼロカーボンシティ宣言をしましたが、その認知度の向上や市民一人ひとりの取組が必要なこと等の課題が投げかけられました。

現在池田市で実施している観光施策への提言が求められたほか、観光施策を持続可能にするための検討が必要なが示されました。

ご検討いただきたい内容(検討いただく観念の例をピックアップ)

①現在、池田市で実施している観光施策への提言

- ・評価できる点・改善点・売り出し方・プロモーション先(企業・団体等)
- ・ターゲット(市民・近隣住民・国内観光客・インバウンド)
- ・参加者の誘導方法として、このようなことができれば参加してみたい
- ・課題解決へのヒント

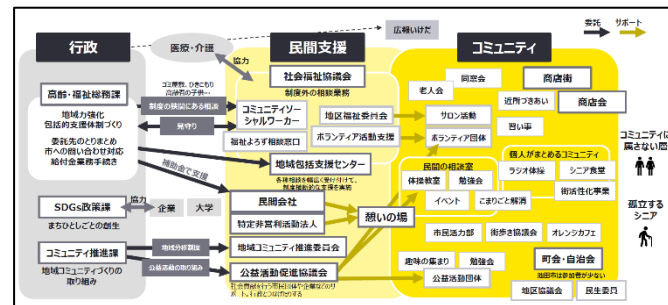
②観光施策・賑わいづくりを持続可能なものとするには？

- ・大きな方向性として、2025年「大阪・関西万博」に向けて、域内消費向上システム構築や交流人口増加を図る。
- ・主催(民営活動導入?)・行政のコミットは?・財源は?
- ・継続するべきタイミング(いつまでどのようなことを実施する?)
- ・どのような人を巻き込んで事業展開して行くか?

【社会】

社会の分野では、高齢化の現状を踏まえ、高齢者にやさしいまちづくりにむけて調査を行った結果、「複合的な悩みの受け皿、受け止める仕組みづくり」「コミュニティの担い手育成」などが必要であることが示されました。

コミュニティを作り、それを持続可能なものにするための方策が求められています。



05 取組アイデアを考えるワークショップ

後半は各グループ(環境、経済、社会)に分かれて議論を行いました。企業や、市民、大学生など様々な主体が集まっていたので、市の課題だけでなく、参加者が当該テーマについて感じている課題、取組のアイデアや役割分担について議論をしました。

【環境】

議論に参加している企業、大学等がそれぞれ組織内でSDGs に向けての取組をシェアし、池田市の特定の地域にターゲットや期間を絞って、実証実験を行ってはどうか、と議論が行われました。

【キーワード】

- ・エコタウン ・CO₂ 排出量/吸収量の測定
- ・電気自動車の導入 ・ワーケーション
- ・都市からアクセスのよい田園 ・地産地消
- ・産官学の連携 ・新しい燃料の活用 等

【経済】

利便性が良い反面、宿泊施設が少ない等の理由で回遊性がなく、「点」での訪問になってしまうという問題点が参加者の中で共有されました。万博を意識しつつ、「池田ならではの」をPR するための方策を検討しました。

【キーワード】

- ・盆栽体験 ・空港の魅力をコアなファンに
- ・ゲストハウス拡充 ・子どものワーケーション
- ・介護付きワーケーション ・アウトリーチ
- ・コロナ運動不足解消→初心者向け山登り

【社会】

「高齢者にやさしいまちづくり」のためには、ソフト・ハードの対応が必要ですが、予防・事前の対応が必要な点等が共有されました。長期的な視点に立って、若い方もお年寄りも入れる新しいコミュニティのあり方・作り方の議論もありました。

【キーワード】

- ・自力で解決できないことへの支援
- ・予防的取組 ・興味関心に基づくつながり
- ・複層的なコミュニティ(運動・文化活動等)

▼チームの議論を全体共有

▼瀧澤市長からの講評



2050年カーボンニュートラルを実現するために

実現するために何が必要? ・ ・ 今日の特ピック

- 2050年カーボンニュートラル実現についての認知度向上。
⇒どのように知ってもらうか、どのように意識を変えるか。
- 市民ひとりひとりができることを進める。
⇒実現に向け個人にできることは何か。
- 市と企業や学校が連携してできることを進める。
⇒具体的にどのようなことができるか。

【経済】

経済の分野では、2025年「大阪・関西万博」に向けて多くの観光資源がある池田市の課題(①直行直帰してしまう、②共通テーマが設定できていない)が提示されつつ、池田市のポテンシャルや取組が紹介されました。そのうえで